

**立命館と atama plus「新しい高大接続と入試の在り方を考える共同研究会」
AI 学習システムを活用した新 AO 入試を 2023 年度入試より開始
～全国初！受験前に効果的・実質的に基礎学力を修得する UNITE Program 導入～**

立命館大学などを運営する学校法人立命館(京都市中京区、理事長 森島 朋三、以下立命館)と atama plus 株式会社(東京都港区、代表取締役 CEO 稲田 大輔、以下 atama plus)は、本日、2020 年 12 月に設立した「新しい高大接続と入試の在り方を考える共同研究会」(以下研究会)の報告会見を実施しました。その中で学校法人立命館は、2023 年度入試(2023 年 4 月入学)より立命館大学で開始する、AI 学習システムを活用した総合型選抜(AO 選抜入学試験)の概要を発表いたしました。各学部での学びにおいて特に重要な単元を指定し学修することを出願要件に取り入れた入試、また、AI 学習システム「atama+(アタマプラス)」を活用した入試は全国初です。

■導入の背景

現在、世界は AI 時代に突入し、STEAM 教育が重視され、日本でも、GIGA スクール構想、共通テストの出題科目への「情報」新設、教育現場の DX 化、ICT 教育などが推進されています。また、オンライン学習や IB、海外で学ぶ生徒など、学習指導要領に捉われず、多様な教育課程で学ぶ生徒が増加しており、このような生徒に対して、大学はさらに門戸を広げていくことが求められています。

このような社会背景の中、立命館大学は、高校レベルで学習する科目の総合的な基礎学力を前提としつつ、大学での学びで特に重要な基礎学力は科目レベル(例:数学 I、数学 A 等)ではなく、単元レベル(例:二次関数、確率等)で、学部学科ごとに異なることに着目しました。そして、その重要な単元の学力を確認しつつ、アドミッションポリシー・入試企画として受験生に向けて発信する方法を模索していました。

今回、AI 学習システム atama+を活用することで、受験生ごとに異なる学習歴があっても確実に各単元を修得することができ、かつ大学側も単元レベルでの修得有無を確認することができるようになりました。受験生にとっては、高校までの学習が入試のためだけでなく、大学入学後の学びにどうつながるのか具体的にイメージを持ってもらうことが可能となります。

■入試内容

本入試は、立命館大学と atama plus が提供する「学部指定単元 AI 学習プログラム(通称:UNITE Program ※別紙参照)」で、受験生が atama+を活用し、各学部が指定する教科の単元を学習・修得することが、出願要件のひとつとなります。atama+は、AI が一人ひとりの習熟度を分析し、個別最適化した学習を提供するシステムです。これにより、受験生は効果的かつ実質的に基礎学力を修得し、入学後の大学での学びへスムーズに適應することができます。

今年度の UNITE Program で対象となる教科は「数学」で、学部の専門分野を学習するために、数学的素養が非常に重要となる、経済学部・スポーツ健康科学部・食マネジメント学部(いずれも、立命館大学びわこ・くさつキャンパス、滋賀県草津市)で導入します。また、合格者を対象に、atama+を活用した入学前教育を実施します。本学で実施する多様な入試方式の中でも、特にこの入試は、学部での学びでリーダーシップを発揮する、数学的素養、データリテラシーを持つ(持つ意欲のある)学生の入学を求めます。

■今後の取り組み

今後は、立命館大学他方式や他学部への展開、数学以外の教科の導入などを推進します。また、学部ごとに指定した単元の学習・修得を重視する入試の仕組みを、新たな大学入試のスタイルとして確立することを目指します(現在特許出願中)。さらに、本入試の仕組みの利用を希望する大学を対象とした共同研究コンソーシアムを設立します。目まぐるしく変化する社会や教育情勢のなかで、多様なカリキュラムで学んだ生徒や、確かな基礎学力と高い学習意欲を持った生徒を受け入れ、大学でより高度な学びに変え、社会に新たな価値を創出する人材を育成することを目指してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

学校法人立命館 広報課:遠藤
TEL : 075-813-8300

atama plus 株式会社 広報
E-mail : pr@atama.plus

別紙

■学部指定単元 AI 学習プログラム（通称：UNITE Program）について

総合型選抜(AO 選抜入学試験)の出願要件として導入する、AI 学習システム「atama+」で、各学部が指定する教科の単元を学習・修得するプログラム。期間中は繰り返し学習可能。プログラム出願無料。

開始年度：2023 年度入試(2023 年 4 月入学)の総合型選抜(AO 選抜入学試験)

科 目：数学 I、数学 A、数学 II、数学 B

実施学部：経済学部(経済専攻)、スポーツ健康科学部、食マネジメント学部

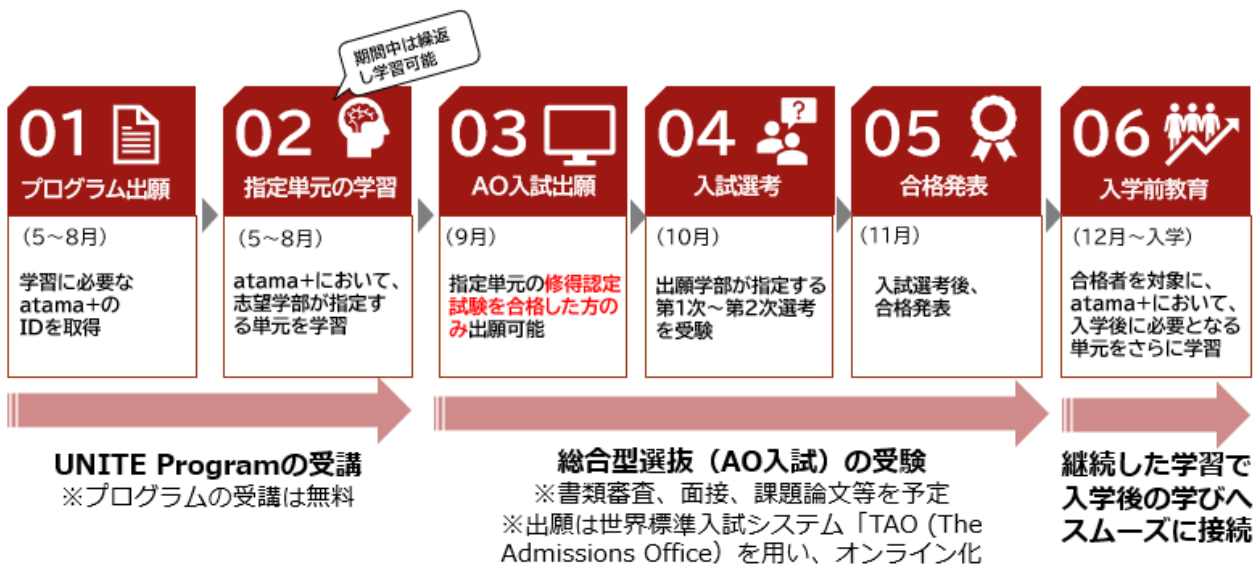
対 象：2023 年 3 月 31 日までに高等学校等を卒業・卒業見込みの方

募集人数：6 月下旬入学試験要項にて公開予定 ※プログラムの出願人数は無制限

特設サイト：2022 年 4 月 1 日開設予定

※本プログラムの学習結果は、入試の可否には影響しません。

<出願から入学までの流れ>



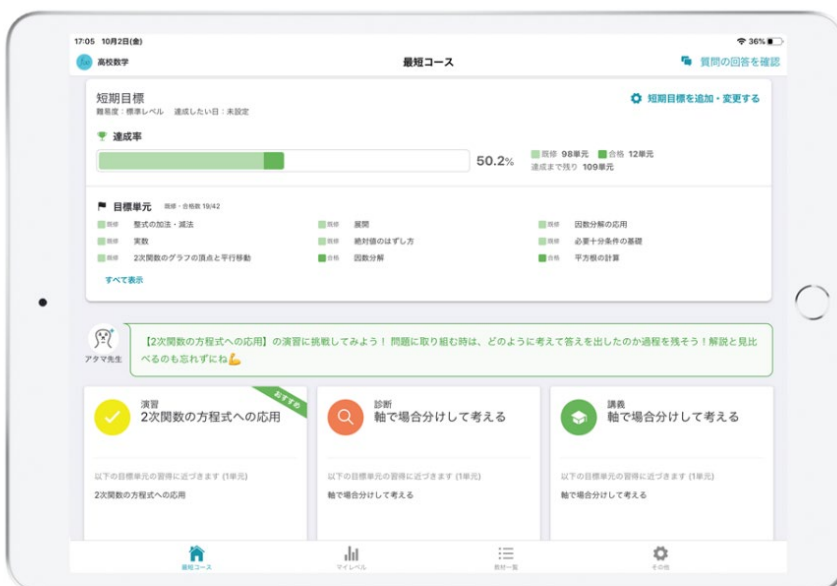
<学習内容>

高等学校の「数学」の各単元のうち、学部が指定する単元を「atama+」で学ぶ。

所要時間の目安は、1 日 1 時間学習した場合、半月~1 カ月程度。

*所要時間は統計値であり、実際に要する時間は該当単元の習熟度により個人差があります。

●「atama+」学習画面 ※画面イメージ



●各学部が指定する単元

| 科目名 | 単元分野 | 経済学部 | スポーツ健康科学部 | 食マネジメント学部 |
|--------------------|------------------------|------|-----------|-----------|
| 数学I | 数と式(式の展開と因数分解) | | | |
| | 数と式(実数) | | | |
| | 数と式(1次不等式と絶対値) | | | |
| | 数と式(1次不等式と絶対値の応用) | | | |
| | 数と式(集合と命題) | | | |
| | 2次関数(2次方程式) | | | |
| | 2次関数(2次関数とグラフ) | | | ○ |
| | 2次関数(2次関数と2次方程式・2次不等式) | | | |
| | 2次関数(2次関数の応用) | | | |
| | 図形と計量(三角比) | | | |
| | 図形と計量(三角比の三角形への応用) | | | |
| | データの分析(データの散らばり) | ○ | | ○ |
| | データの分析(データの相関) | ○ | ○ | ○ |
| | 数学Iの総合演習 | | | |
| 数学A | 場合の数と確率(場合の数) | | | ○ |
| | 場合の数と確率(順列) | | | ○ |
| | 場合の数と確率(組合せ・組分け) | | | ○ |
| | 場合の数と確率(確率) | ○ | ○ | ○ |
| | 整数の性質(約数と倍数) | | | |
| | 整数の性質(ユークリッドの互除法) | | | |
| | 整数の性質(整数の性質の活用) | | | |
| | 図形の性質(三角形の性質) | | | |
| | 図形の性質(メネラウス・チェバの定理) | | | |
| | 図形の性質(円の性質) | | | |
| 数学II | 式と証明(3次式の計算) | | | |
| | 式と証明(整式・分数式の計算) | | | |
| | 高次方程式(複素数と2次方程式) | | | |
| | 高次方程式(因数定理と高次方程式) | | | |
| | 図形と方程式(直線・平面上の点) | | | |
| | 図形と方程式(点と直線) | | | |
| | 図形と方程式(円の方程式) | | | |
| | 図形と方程式(軌跡と領域) | | | |
| | 指数と対数(指数関数) | | | |
| | 指数と対数(対数関数) | | | |
| | 指数と対数(指数・対数の応用) | ○ | | |
| | 三角関数(三角関数の性質とグラフ) | | | |
| | 三角関数(三角関数の応用) | | | |
| | 三角関数(加法定理) | | | |
| | 三角関数(三角関数の合成) | | | |
| | 整式の微分法(微分係数と導関数) | | | |
| | 整式の微分法(微分法の応用) | ○ | ○ | |
| | 整式の微分法(方程式・不等式への応用) | | | |
| 整式の積分法(不定積分と定積分) | | | | |
| 整式の積分法(積分と面積) | ○ | ○ | | |
| 数学IIの総合演習 | | | | |
| 数学B | 数列(等差数列) | | | |
| | 数列(等比数列) | | | |
| | 数列(Σ の計算) | ○ | | |
| | 数列(いろいろな数列) | ○ | | |
| | 数列(漸化式と数列) | | | |
| | 数列(数学的帰納法) | | | |
| | 平面ベクトル(ベクトルの演算) | | | |
| | 平面ベクトル(ベクトルと直線) | | | |
| | 平面ベクトル(ベクトルの内積) | | | |
| | 平面ベクトル(ベクトルと図形) | | | |
| 空間ベクトル(ベクトルの演算・内積) | | | | |
| 空間ベクトル(ベクトルと図形) | | ○ | | |
| 数学Bの総合演習 | | | | |
| 習得までの所要時間目安(単位:分)* | | 1873 | 1094 | 1802 |

*所要時間は統計値であり、実際に要する時間は該当単元の習熟度により個人差があります。

■学校法人立命館について

所在地：京都府京都市中京区西ノ京朱雀町1
設立：1913年12月

(立命館大学は1900年5月)

理事長：森島 朋三

事業内容：教育・研究事業

URL：http://www.ritsumeikan-trust.jp/

■atama plus 株式会社について

所在地：東京都港区三田1-4-1

住友不動産麻布十番ビル 3F

設立：2017年4月

代表取締役 CEO：稲田 大輔

事業内容：AIを活用した教育プロダクトの開発・提供

URL：企業情報サイト https://corp.atama.plus/
サービスサイト https://www.atama.plus/